

大間原子力発電所 審査会合における指摘事項について(地震・津波関係)【抜粋】

旧
No.

No.	分野	項目	指摘場所	指摘日	コメント内容	回答日
S1-78	敷地周辺地質	sF系	第856回会合	2020年4月16日	フィリブサイトは生成温度が低温であること、K-Ar法年代測定を適用した地質学的事例が無いと思われること等から、生成年代の評価に疑問が残る。 このため、sF-1断層が震源として考慮する活断層であるか否かの評価については、地下深部への連続性の有無の検討が最重要で、次に多重逆解法を用いた応力場の検討で、鉱物脈法による検討については参考扱いと考えており、総合的な観点からの評価が必要であると考えている。このような審査の位置付けも含めて、sF-1断層の評価について改めて説明すること。	今後ご説明予定
S1-79	敷地周辺地質	sF系	第856回会合	2020年4月16日	sF-1断層の地下深部への連続性の有無の検討について、以下を考慮のうえ説明性を向上し、改めて説明すること。 ・地下深部への連続性の有無の判断根拠として用いた鍵層AT-22について、確認深度、層厚、性状等の同定根拠を整理し説明するとともに、検討に用いたボーリング柱状図、ボーリングコア写真等のエビデンスを追加すること。 ・断層の長ささと変位量の関係を示す文献を追加し反映すること。 ・本検討結果については、本編資料とすること。	今後ご説明予定
S1-80	敷地周辺地質	sF系	第856回会合	2020年4月16日	多重逆解法を用いた断層形成に関わる応力場の検討について、以下を考慮のうえ改めて説明すること。 ・審査資料に反映されていないボーリングデータ等を追加のうえ再解析すること。 ・解析に用いたボーリング孔名、確認深度等の情報を整理しリスト化し提示すること。 ・本検討結果については、本編資料とすること。	今後ご説明予定

コメントNo. の凡例 (1列目) __H: ヒアリングでのコメント, S: 審査会合及び現地調査でのコメント

(2列目) __1: 敷地周辺地質, 2: 敷地地質, 3: 地下構造, 4: 地震, 5: 津波, 6: 火山, 7: 地盤・斜面

注1) 項目のうち「第四系中の変状」(第700回審査会合までの記載)については「後期更新世に生じた変状」に改称。

[]: 回答済み